

1 日 時 平成 30 年 7 月 25 日(水) 13:30～15:00

2 場 所 中央区役所 3 階 A 会議室

3 議 題

(1) 平成 29 年度中央区内地域包括支援センターの運営状況

① 各センターの月別報告書

② 地域ケア会議について

③ 地域包括支援センター連絡会等の実施状況

(2) 平成 30 年度あんしんすこやかセンター事業計画について

(3) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取扱いについて

(4) 地域包括支援センター自己評価について

① 自己評価作成の目的・内容について

—以下非公開—

② 各センターの自己評価

(5) 地域包括ケア充実のための事業目標について

(6) 特定事業所へのサービス集中率について

(7) 認知症初期集中支援事業について報告

4 当日出された主な意見・質問と事務局回答（要旨）

(1) 平成 29 年度中央区内地域包括支援センターの運営状況

①各センターの月別報告書

②地域ケア会議について

③地域包括支援センター連絡会等の実施状況

- 全体の地域ケア会議の開催件数が減って地域主催の会議が増えているようだが、移行しているなど関連があるのだろうか。

【事務局】 直接的に地域ケア会議が地域の主催になってきているということではなく、地域主催の会議については、センターが地域から必要とされて参加にいたる件数が増えてきている、センターの認知度が上がってきていることの表れだと考える。

- 高齢者についての相談件数は電話も面接も、センターごとに大きく差があるようだが、実際の高齢者人口や独居率などと比較してみないことには多い少ないなども評価ができないと思うがいかがか。

高齢者人口の差があるなかで、一律に中学校区にひとつのセンター、4 職種という体制は問題ないのだろうか。中学校区で割ることに問題があるのではないか。

【事務局】 お見込みのとおりと認識している。

中央区内でも高齢者数については 2 0 0 0 人程度から 5 0 0 0 人前後と幅がある状態ではあるが、ほとんどのセンター圏域で概ね 5 0 0 0 人前後となっており、他区の状況と比較して大きな問題として議論には至っていない状況である。今後高齢者人口やあんしんすこやかセンターへの相談件数が増えてくることも踏まえて市にも報告していきたい。

- 元町山手あんしんすこやかセンターの人員配置、SCS について教えていただきたい。

【中央区社会福祉協議会】

神戸市から社会福祉協議会に委託を受けて高齢者の見守り支援が行われてい

るが、高齢者の多い大規模住宅には見守りの拠点としてあんしんすこやかルームが置かれており、そこで居住する高齢者に対して見守りや支援を行っている。

- (2) 平成 30 年度あんしんすこやかセンター事業計画について
 - (3) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取扱いについて
 - (4) 地域包括支援センター自己評価について
 - ① 自己評価作成の目的・内容について
 - ② 各センターの自己評価
 - (5) 地域包括ケア充実のための事業目標について
 - (6) 特定事業所へのサービス集中率について
 - (7) 認知症初期集中支援事業について報告
 - 認知症独居高齢者の問題で、病院や医療につなげるためにまず病院に連れ出すことがなかなかできていない現状がある。オレンジチームの関わりに頼っているが大変難しく、何か制度として良い方法はないのかと考えさせられる。
本人の納得が得られないということが一番の難しさだと思う。事故救済の関係で、新たに受診してみようという人が増えるといいのだが、本来医療が必要な人の受診が増えてくるのかも疑問である。
- 【事務局】** 事故救済も含めて条例が制定され、具体的な運用方法についてや診断方法についての議論が出てきたところであり、詳細が決定すれば随時お知らせしていきたい。